

また、角館児童館に放課後児童クラブを併設し、4月から開所します。

〔障害者福祉〕

障害者の多様なニーズに応じるため、障害者相談支援事業所及び地域活動支援センターを積極的に活用した、きめ細かな福祉サービスの提供に努め、自立を支援していきます。

【産業観光部関係】

〔農業関係〕

平成20年産米生産目標数量は、昨年より1千62トン少ない1万8千111トンとなっており、転作率換算で4%弱の増加となる等、厳しい状況になっています。

品目横断的経営安定対策は、「水田経営所得安定対策」と名称が変わり、面積要件に満たない認定農業者でも、市町村の認定により加入出来る特認制度が設けられましたので、さらなる加入促進に取り組みます。また、市単独による「集落営農組織設立支援事業」、「売れる米づくり推進事業」を実施するとともに、複合経営等への支援として、県事業の「目指せ“元気な担い手”農業夢プラン応援事業」への嵩上げ助成を行います。

産業連携プロジェクト関係では、的確な消費者ニーズの把握に努め、関係機関と連携を図りながら、特産品を利用した料理コンクール等の開催や、「米粉」等を材料とした特産品づくりに支援を行い、新たな食品の掘り起こしと地産地消に努めます。

アグリビジネスへの新規参入や業務拡張のほか、新たにドブコク製造の取り組みに対し支援を行い、都市との交流の活性化につなげていきます。

食育の総合的な推進を図るため、「食育推進計画(仮称)」の策定に取り組みます。

〔畜産関係〕

家畜総合防疫事業等により安全な畜産物生産に努めるとともに、生産基盤の確立を図るため家畜導入事業や優良種牛の導入により、繁殖障害牛の軽減を図り、仔牛生産効率向上と併せて大覚野牧場の活用促進による低コスト生産を推進します。

〔林業関係〕

高能率生産団地路網整備事業により西木町坂本地区の作業道整備を実施するほか、新たに中泊地区の作業道整備を実施します。

森林の現況調査等の地域活動に対し支援するほか、流域森林総合整備事業費補助金を活用し、市有林の除伐や間伐を実施します。また、天然林を活用しつつ多様な

樹種・林層からなる森林等の育成を推進するとともに、保健・文化・教育活動の場としての利用に適する「絆の森整備」を推進します。

〔観光振興〕

交流人口1千万人の達成に向け、観光施策の指針として策定した「観光振興計画」に沿って、本市の豊富な観光資源を活用した新たな観光メニューの創設等に取り組みます。

「観光振興懇談会」を設置し、計画的な進行管理や、より具体的な事業等について意見を伺うほか、観光資源の発掘や観光コースの設定をはじめとする様々な新規事業に順次着手するとともに、集客力のあるお祭りやイベントの積極的なPR活動を行うほか、国際観光の推進にも力を入れます。

〔雇用対策〕

ハローワーク大曲・角館管内における平成20年3月高校卒業予定者の就職内定率は、平成20年2月末現在で97.2%となっております。

本年度においても、高校生を対象とした事業所視察会の開催や求人情報の迅速な提供等によって、地元就職希望者に対する就労支援に努めます。

〔商工業の振興〕

仙北市商工会が推進する各種事業の支援に努めるとともに、中小企業振興資金融資制度等の効果的な活用を促します。また、昨年制定された「企業立地促進法」の支援メニュー等を活かしながら、企業誘致活動を推進し、活力ある産業の育成と雇用の場の拡大に努めます。

平成20年度は、東京都板橋区の上板南口銀座商店街振興組合が運営する交流都市型アンテナショップへの参加によって物産販売や観光誘客、交流の促進等に努めます。

【建設部関係】

〔道路整備〕

市道整備については、総合計画に基づき進めておりますが、今後も地域からの要望を踏まえ、危険度や緊急性等を勘案しつつ、計画的に進めます。

国庫補助事業の地方道路整備臨時交付金事業として中央線道路改良工事、栃木六本杉線道路改良工事、観光線道路改良工事を実施します。また、市単独事業として豪雪対策、過疎対策、辺地対策及び臨時地方道路整備事業により市道改良工事を実施します。

〔まちづくり交付金事業〕

角館地区中心市街地の活性化を目指す本事業は、計画最終年度となりますが、引き続き駅東地区において道路、公園、多目的広場の整備を、中心市街地地区において外町交流広場整備等の事業を推進します。

〔都市計画マスタープランの策定〕

総合計画を実現するアクションプランとして着手している「都市計画マスタープラン」の策定については、平成20年度中の完成に向け、事業を進めます。

〔下水道事業〕

平成19年度に引き続き、田沢湖石神、造道、中生保内地区、角館町小倉前、中川原、西野川原地区の整備を進めます。

また、人口の減少や財政の悪化等生活環境整備を取り巻く状況が大きく変化しており、こうした社会情勢に対応するため、「生活排水処理整備構想」の見直しを行います。

〔集落排水事業〕

平成18年度から工事に着手している田沢地区については、平成20年度で処理場の完成と管渠整備を行い、平成22年度の供用開始を目指します。既存の集落排水処理施設についても適正な管理を行い、住民の快適な生活環境の向上に努めます。

〔合併処理浄化槽事業〕

公共下水道、集落排水事業等の計画区域以外で汚水の集合処理に適さない地域においては、汚水処理施設整備交付金を活用した、浄化槽市町村整備推進事業、浄化槽設置整備事業を進めます。

【企業局関係】

〔水道事業〕

角館地区では、石綿セメント管更新事業、配水管新設事業、角館浄水場の急速ろ過機設備更新事業。田沢湖地区では、生保内浄水場の計装盤設備更新事業、高原、水沢及び城廻簡易水道浄水場の集中監視システム装置化事業。西木地区では、北部地区簡易水道基幹改良事業で石綿セメント管更新工事、下桧木内地区統合簡易水道整備事業で配水管改良工事を予定しています。

本市の水道事業の将来像を描き、その実現のための施策を示した「水道ビジョン」の策定を予定しています。

〔温泉事業〕

源泉の噴気量が年々減少する傾向にあることから、源泉井戸の状態を的確に把握するため、現在、主源泉となっている「カラ吹2号井」の放射線検査による老朽度調査を予定しています。

【教育委員会】

〔学校建設事業〕

角館統合小学校建設事業は、新校舎が完成したことにより角館西小学校の解体工事を行い、その跡地に外構整備並びにグラウンド整備事業を2箇年により実施します。

神代小学校建設事業については、仮設校舎設置後に教室棟の解体を行い、新校舎を平成20年度から2カ年において建設します。

〔学校教育〕

平成20年度の新入学児童及び生徒の予定人数は、小学校222人(前年度比5人増)、中学校273人(前年度比13人増)です。

学校給食センターで使用する給食材料について、安全性の確保が確認されるまで、中国産の食品を使わないよう指導しています。

本年度から給食費の口座振替制度に移行し、滞納対策についてはさらなる強化を図ります。

〔生涯学習〕

「歴史と文化を尊び、ふるさとを愛し誇れる人づくりを目指した社会教育」、「同じ世代を生きるものとして、他を思いやる心を養う生涯学習」の二つの理念に基づき各種事業を推進します。

イベント交流館では、本年が新潮社創設者佐藤義亮生誕130年にあたることから、大正11年から寄贈が続いている「新潮社文庫」資料や、関係機関から資料をお借りし、郷土の先覚者である佐藤義亮の功績を称える記念事業及び企画展を予定しています。

〔文化財保護〕

平成18年度から2カ年にわたり審議してきた「伝統的建造物群保存地区保存計画」の見直し調査について、保存計画(案)が示され、今後、住民への説明会を行い、協議の場を設け、計画が円滑に推進できる環境を創ります。